

令和7年度公益財団法人岡山県動物愛護財団事業実績書

(単位：円)

事業名	事業の概要	事業費
1 啓発事業	1 講習会活動事業 (1) 犬のしつけ方教室 犬のしつけ方について学んでもらい、基礎的なしつけ方のトレーニングを飼い犬とともに学んでもらった。 飼い主と飼い犬の良好な関係を保ち、地域の人達に親しまれる犬の育成を図った。 (2) 犬・猫の飼い方講習会 飼育する場合の決まり事及び適正な飼育方法等について学習してもらい、飼い主と飼い犬・猫との良好な関係を保ち、地域の人達に親しまれる犬・猫の育成をすることにより、適正な飼養の普及を図った。 2 動物愛護推進事業 (1) 動物とのふれあい教室 犬等との接し方、生き物の命の大切さを知ってもらい、実際に動物に接することから生き物のぬくもりやおもちゃとの違いを、体感を通して動物愛護の啓発を行った。 予約なしの来場者に対しては、ウサギ・モルモットへの餌やり体験を中心に実施した。 (2) 犬・猫の譲渡会 収容された犬・猫で飼い主のわからなかったものについて、人の社会に順応できる犬・猫になるよう社会化を行い、事前に講習会を受講し、譲渡条件に合う希望者に譲渡した。 猫の収容が多いため、臨時に緊急猫の譲渡会を開催し譲渡数増に努めた。 (3) 動物愛護週間関連事業 動物愛護週間を中心に、動物愛護センター、岡山、倉敷、赤磐、高梁、井笠、真庭の各地区において、獣医師会等との共催により、写真、パネル展示等を中心とした催しを行った。一部では犬のしつけ方教室、相談コーナー等が開設された。 (4) ボランティアの募集及び育成・管理 ボランティア（ボランティア犬飼い主を含む）を希望する個人及び団体を募集した。趣旨に賛同する者に対してオリエンテーションを行い、ボランティア登録を行った。また、登録者に対しては研修会を開催した。 (5) 北広場（ドッグラン）の運営 犬を放して遊ばせるドッグランの利用促進に努めた。 (6) 親子向けイベントの開催 5月、8月に親子向けの物作り及び動物について学べる催しを開催した。 (7) 譲渡犬の里帰り交流会 譲渡した犬と飼い主を対象とした里帰り交流会を開催した。 (8) 譲渡猫写真展の開催 譲渡猫の愛されている様子の写真を通して、動物愛護の啓発を行った。 (9) 公開セミナー 愛犬との生活の質を高めるため、嗅覚を利用したノーズワークの具体的な方法等について「愛犬との生活の質を高めるノーズワーク」と題したセミナーを開催した。 3 動物愛護組織の育成 「ふれあい動物友の会」の会員募集と会報「しっぽ通信」の発行を行った。 4 広報活動 (1) ポスターの掲示 動物愛護精神の高揚を図るため、保健所・市町村・動物病院等にポスターの掲示を依頼し、普及啓発を図った。 (2) 啓発資料の作成 リーフレット、テキストブック、子ども用啓発資料、啓発パネル等を作成し、犬のしつけ方教室、犬・猫の飼い方講習会、動物愛護週間行事など各種啓発事業に活用した。 (3) ホームページの拡充 各種イベントの案内、犬・猫の譲渡に関する情報等の提供を行った。 (4) 広報紙の発行 動物愛護や各種イベントに関する情報を掲載した「動物愛護センターだより」を発行し、岡山県各出先機関、市町村及び関係機関等に配付した。	29,427,764

2 助成金交付事業	飼い犬又は飼い猫に不妊去勢手術を実施する県民に対して、その手術費の一部を助成することにより、犬・猫の不幸な命を増やさないようにし、人と動物が共存できる豊かな地域社会の実現を図った。	1,242,079
3 相 談 事 業	1 電話・メール等による「動物なんでも相談」を行った。 2 犬・猫の適正飼養及び不妊去勢の啓発 動物愛護センターへ搬入される犬・猫の絶対数の減少に努めるとともに、不妊去勢手術を奨励し、動物愛護思想の啓発を行った。	526,559
4 調査研究事業	動物愛護や適正飼養に係る調査研究のため、各種図書及びDVD等を計画的に整備充実するとともに、整備した資料については、ふれあい動物友の会会員に貸出しを行った。	628,974
5 収 益 事 業	愛護館利用者を対象に首輪、リード、迷子札等動物用グッズの販売を行った。	50,806
6 公益財団法人 の 管 理 運 営	財団の組織充実と体制整備のための事業並びに管理運営を行った。	1,671,856
合 計		33,548,038

貸借対照表

令和 8 年 3 月 31 日 現在

(単位：円)

科 目	7 年 度	6 年 度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	9,860,454	10,324,854	△ 464,400
前払利息	108,657	108,657	
商品	141,799	153,043	△ 11,244
流動資産合計	10,110,910	10,586,554	△ 475,644
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
投資有価証券	99,908,000	99,908,000	
定期預金	92,000	92,000	
基本財産合計	100,000,000	100,000,000	
(2) 特定資産			
普通預金	5,532,921	6,144,045	△ 611,124
特定資産合計	5,532,921	6,144,045	△ 611,124
(3) その他固定資産			
什器備品	3,826,006	3,368,560	457,446
什器備品減価償却累計額	△ 2,500,966	△ 1,787,098	△ 713,868
電話加入権	30,000	30,000	
投資有価証券	18,163,980	18,163,980	
その他固定資産合計	19,519,020	19,775,442	△ 256,422
固定資産合計	125,051,941	125,919,487	△ 867,546
資産合計	135,162,851	136,506,041	△ 1,343,190
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	1,126,236	1,158,841	△ 32,605
流動負債合計	1,126,236	1,158,841	△ 32,605
負債合計	1,126,236	1,158,841	△ 32,605
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
指定正味財産	100,000,000	100,000,000	
(うち基本財産への充当額)	(100,000,000)	(100,000,000)	
2. 一般正味財産			
一般正味財産	34,036,615	35,347,200	△ 1,310,585
正味財産合計	134,036,615	135,347,200	△ 1,310,585
負債及び正味財産合計	135,162,851	136,506,041	△ 1,343,190

正味財産増減計算書

令和7年4月1日から令和8年3月31日まで

(単位：円)

科 目	7 年 度	6 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益			
基本財産受取利息	400,101	400,001	100
受取会費			
正会員受取会費	1,289,000	1,340,000	△ 51,000
特別会員受取会費	820,000	720,000	100,000
事業収益			
販売品収益	67,952	57,714	10,238
受取補助金等			
受取地方公共団体受託金	28,840,000	28,340,000	500,000
受取寄附金			
受取寄付金	690,557	634,236	56,321
雑収益			
受取利息	129,843	100,076	29,767
雑収益		30,280	△ 30,280
経常収益計	32,237,453	31,622,307	615,146
(2) 経常費用			
事業費			
給料手当	15,767,000	11,770,650	3,996,350
臨時雇賃金	2,449,200	2,736,664	△ 287,464
福利厚生費	3,040,772	2,466,881	573,891
教材費	139,889	168,662	△ 28,773
需用費	70,120	76,104	△ 5,984
研修費		20,600	△ 20,600
諸謝金	14,580	25,520	△ 10,940
助成費	773,000	1,025,000	△ 252,000
消耗品費	2,674,347	2,662,034	12,313
印刷製本費	2,119,515	3,657,791	△ 1,538,276
旅費交通費	22,050	15,750	6,300
通信運搬費	939,468	1,629,363	△ 689,895
役務費	452,700	530,680	△ 77,980
租税公課	1,328,100	1,321,800	6,300
賃借料	720,250	720,520	△ 270
保険料	116,210	153,200	△ 36,990
負担金	520,000	520,000	
減価償却費	678,175	333,137	345,038
管理費			
給料手当	768,000	707,200	60,800
福利厚生費	85,463	103,801	△ 18,338
需用費	147,926	278,339	△ 130,413
旅費交通費	86,560	66,360	20,200
役務費	514,635	514,492	143
会議費	2,594	1,728	866
印刷製本費	19,360	19,360	
渉外費	6,625	8,236	△ 1,611
減価償却費	35,693	17,534	18,159

(単位：円)

科 目	7 年 度	6 年 度	増 減
販売品仕入費	50,806	42,601	8,205
雑費	5,000	11,482	△ 6,482
経常費用計	33,548,038	31,605,489	1,942,549
評価損益調整前経常増減額	△ 1,310,585	16,818	△ 1,327,403
当期経常増減額	△ 1,310,585	16,818	△ 1,327,403
当期一般正味財産増減額	△ 1,310,585	16,818	△ 1,327,403
一般正味財産期首残高	35,347,200	35,330,382	16,818
一般正味財産期末残高	34,036,615	35,347,200	△ 1,310,585
Ⅱ 指定正味財産増減の部			
指定正味財産期首残高	100,000,000	100,000,000	
指定正味財産期末残高	100,000,000	100,000,000	
Ⅲ 正味財産期末残高			
正味財産期末残高	134,036,615	135,347,200	△ 1,310,585

令和8年度 公益財団法人岡山県動物愛護財団 事業計画書

(単位：千円)

事業名	事業の概要	事業費
1 啓発事業	1 講習会活動事業 (1) 犬のしつけ方教室を開催する。 (2) 犬・猫の飼い方講習会を開催する。 2 動物愛護推進事業 (1) 動物ふれあい教室を開催する。 (2) 犬・猫の譲渡会を開催する。 (3) 動物愛護週間事業を開催する。 (4) ボランティアの募集及び育成・管理を行う。 (5) ドッグランの利用を促進する。 (6) 災害時対応について啓発を行う。 (7) 親子を対象とした物づくり教室等を開催する。 (8) 譲渡した犬と飼い主を対象とした里帰り交流会を開催する。 (9) 譲渡猫写真展を開催する。 (10) 犬・猫の終生飼養の必要性等を説いた公開セミナーを開催する。 3 動物愛護組織の育成 「ふれあい動物友の会」の会員募集を行う。 4 広報活動 (1) 犬・猫の正しい飼育管理等の啓発資料を作成し、動物愛護の普及啓発を行う。 (2) ホームページを拡充し、各種イベントの案内・申込み、各種情報の授受を行う。 (3) 定期広報誌を発行する。	30,202
2 助成金交付事業	飼い犬又は飼い猫に不妊去勢手術を実施する県民に対して、その手術費の一部を助成することにより、犬・猫の不幸な命を増やさないようにし、人と動物が共存できる豊かな地域社会の実現を図る。	1,632
3 相談事業	1 「動物なんでも相談」事業を実施する。 2 犬・猫の適正飼養及び不妊去勢の啓発を行う。	543
4 調査研究事業	動物愛護や適正飼養に係る調査研究のために、各種DVD及び図書等を計画的に整備充実するとともに、整備した資料については、ふれあい動物友の会会員に貸出しを行う	793
5 収益事業	愛護館利用者を対象に動物用グッズの販売を行う。	90
6 公益財団法人の管理運営	財団の組織充実と体制整備のための事業及び管理運営を行う。	1,951
合 計		35,211

令和 8 年度 公益財団法人岡山県動物愛護財団 収支予算書

(単位：千円)

科 目	8 年度	7 年度	増△減
一般正味財産増減の部			
1 経常増減の部			
(1) 経 常 収 益			
イ 基本財産運用益			
基本財産受取利息	400	400	
ロ 受 取 会 費			
正会員受取会費	1,300	1,300	
特別会員受取会費	700	700	
ハ 事 業 収 益			
販 売 収 益	70	100	△ 30
ニ 受取補助金等			
受取地方公共団体受託金	30,840	28,840	2,000
ホ 受 取 寄 附 金			
受 取 寄 附 金	1,811	1,210	601
ヘ 雑 収 益			
受 取 利 息	90	90	
経 常 収 益 計	35,211	32,640	2,571
(2) 経 常 費 用			
イ 事 業 費			
給 与 手 当	12,204	14,743	△ 2,539
賃 金	5,820	2,112	3,708
福 利 厚 生 費	2,850	2,850	
教 材 費	190	190	
需 用 費	120	120	
研 修 費	100	80	20
諸 謝 金	80	80	
助 成 費	1,100	1,200	△ 100
消 耗 品 費	2,500	2,400	100
備 品 費	100	100	
印 刷 製 本 費	2,372	2,443	△ 71
旅 費 交 通 費	100	80	20
通 信 運 搬 費	1,463	1,460	3
役 務 費	720	650	70
租 税 公 課	1,400	1,400	
賃 借 料	1,000	850	150
保 険 料	150	150	
負 担 金	520	520	
減 価 償 却 費	381	476	△ 95
ロ 管 理 費			
給 与 手 当	784	768	16
福 利 厚 生 費	103	103	
需 用 費	150	100	50
旅 費 交 通 費	185	180	5
役 務 費	520	480	40
備 品 費	100	100	
租 税 公 課	10	10	
会 議 費	20	20	
印 刷 製 本 費	30	30	
渉 外 費	20	20	
減 価 償 却 費	20	25	△ 5
雑 費	99	100	△ 1
経 常 費 用 計	35,211	33,840	1,371
当期経常増減額		△ 1,200	1,200
当期一般正味財産増減額		△ 1,200	1,200
一般正味財産期首残高	27,473	28,673	△ 1,200
一般正味財産期末残高	27,473	27,473	
指定正味財産増減の部			
指定正味財産期首残高	100,000	100,000	
指定正味財産期末残高	100,000	100,000	
正味財産期末残高	127,473	127,473	